

大気汚染情報に注意しましょう！～光化学スモッグ注意報&PM2.5高濃度予報～

毎年4月から10月は光化学スモッグ緊急時措置の実施期間です。光化学オキシダント濃度が1時間値0.12ppm以上となり、気象条件からみてその状態が継続すると認められるときには、光化学スモッグ注意報が発令されます。また、PM2.5(微小粒子状物質)は粒径が2.5μm(1μm=千分の1mm)以下の微小な粒子です。1日の平均濃度が70μg/m³を超えると予想される場合に、8時頃と13時頃に高濃度予報をお知らせします。被害を防ぐためにも、上記の場合には屋外での激しい運動はできるだけ控えましょう。

▼大気汚染情報は以下の方法でお知らせします

- ・防災行政無線 ・ホームページ・FM ラジオ『FM -City(79.1MHz)』
- ・テレビ神奈川 データ放送
- ・テレフォンサービス
(光化学) TEL : 050-5893-9342
(PM2.5) TEL : 050-5893-9344
- ・市施設への看板の掲示(光化学)
- ・メール配信サービス
(携帯に登録を希望する方は
mailnews-m@k-mail.city.kawasaki.jp
に空メールを送信または、QRコード読取

【携帯用メール登録】



▼光化学スモッグ注意報発令時に注意すること

光化学スモッグは眼がチカチカする、喉が痛くなるなどの症状を起こすことがあります。

このような症状を感じたら、最寄りの区役所の地域ケア推進担当にご連絡ください。

*土・日曜、祝日は、健康福祉局環境保健課にご連絡ください。TEL : 200-2435

問い合わせ：環境局大気環境課 TEL 200-2516 FAX 200-3922

大気中の放射線量モニタリング結果(平成28年3月)

市では、環境総合研究所(川崎区殿町)、中原大気測定局(中原区小杉町)及び麻生大気測定局(麻生区百合丘)で、建物屋上及び当該測定地点の地表面付近の放射線量(ガンマ線)について測定を行っており、3月の測定結果は次のとおりです。

詳しくは市ホームページをご覧ください。

- 建物屋上(連続測定)・・・約0.02～0.04マイクロシーベルト/時間で推移(3月13日現在)
- 地表面付近(月1回測定)・・・測定結果は次のとおりであり、いずれの地点、高さにおいてもほぼ同じ数値で推移

単位：マイクロシーベルト/時間

地表面からの高さ	環境総合研究所(土・草地)	環境総合研究所(アスファルト)	中原大気測定局(アスファルト)	麻生大気測定局(土・草地)
100cm・50cm・5cm	0.04	0.05	0.06～0.07	0.05

※マイクログレイ/時間で測定した値をマイクロシーベルト/時間に換算して表記しています。

※原子力規制庁によると、「緊急時は、1グレイ=1シーベルト」として換算します。

※神奈川県が川崎市内5か所に設置しているモニタリングポスト(地上約3m)の平成21年度(福島第一原子力発電所の事故以前)の年平均値は0.023～0.042マイクロシーベルト/時間でした。

市ホームページ：<http://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000037968.html>

問い合わせ：環境局環境管理課 TEL 200-3495 FAX 200-3922

浮島埋立処分場における放射能濃度等測定結果(平成28年3月)

市では、ごみ焼却灰の埋立に伴い、廃棄物の最終処分場である浮島埋立処分場の敷地境界で空間放射線量(ガンマ線)の測定を行っています。また、埋立処分場の内水等の放射能濃度(放射性セシウム濃度)についても測定を行っており、3月の測定結果は次のとおりです。

詳しくは市ホームページをご覧ください。

- 埋立処分場空間放射線量(連続測定)・・・0.041～0.058マイクロシーベルト/時間で推移(3月13日現在)
- 埋立処分場の内水等・・・測定結果は次のとおり

単位：ベクレル/L

	測定値	基準等	測定頻度
埋立処分場内水	2.0～2.5 (検出下限値：1.0)	国の目安値 75 本市の管理目標値 10	週1回
放流水	3.0 (検出下限値：1.0)	国の目安値 75 本市の管理目標値 10	放流時
外海水	不検出 (検出下限値：1.0)		放流時

※上記掲載の測定値は、2月14日から3月13日までの期間に測定したものになります。

市ホームページ：<http://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000045121.html>

問い合わせ：環境局処理計画課 TEL 200-2590 FAX 200-3923